

都 建 第 4 1 9 号
平成 20 年 12 月 3 日

国土交通省 道路局長 殿

都農町長 河野 正樹



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号で依頼のありました標記につきまして、別紙のとおり回答いたします。

（文書取扱 建設課）

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

宮崎県都農町

○現状

○課題

○道路は全国津々浦々つながってはじめて効果が出るものであって、一部の圏域にしぼった結果論争はおかしい。

○全国津々浦々、国民が等しく国民としての利益を享受出来るようにするのが国の仕事

○費用対効果論で言うと都市と地方の格差は広がるばかりである。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー1 地域の現状と抱える課題

様式 ①

宮崎県都農町

○現状

- ・ 本町の基幹産業は農業である
- ・ 少子高齢化による人口減少に加えて2、3次産業が少なく、若者の流出が続き、全国平均を上回る高齢化、人口減少率である。
- ・ よって、地域経済力はせい弱で、本町の財政力指数は0.3に満たない。
- ・ これを改善するには、経済力を高める必要があるが、企業の本町への進出は絶望的であり、1次産業を中心とした産業の創出が急がれる。
- ・ 本町ではブドウ、梅等を原料としたワインづくりに成功し、いよいよ全国を視野に入れた、事業展開が求められている。又、ワインに地元野菜をセットにした取引が強く求められている。

○課題

- ・ 左記の現状を打破する為のネックは物流である。
- ・ 高速道路は未通、幹線道路は国道10号線のみである。
- ・ 本町だけ又は、本県だけでの取り組みだけでは商品としての魅力に欠ける。南九州又は九州が連携した取り組みが必要である。

- ・ ワインと地元農産物をセットにした商品を大消費地で販売するだけでなくアジアも商圏とした、グリーンツーリズム観光型の農業を推進する必要がある。
- ・ 県を越えた南九州、九州が高速道路等の質の高い、道路によりネットワーク化された地域
- ・ 他、地域との質の高い連携がとれる、相乗効果の出しあえる地域